

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	細胞内膜系動態が支える植物の環境応答能力
研究代表者	西村 いくこ（京都大学・大学院理学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、植物細胞内膜系の解明を進めてきた応募者が、これまでの集大成として、植物の屈曲応答や害虫への対処法を、内膜系の構造や機能から明らかにしようとするものである。これまでの研究成果に裏付けされた現象の解析であるだけでなく、更に新しい機構の解明を目指す点で、世界的にも先駆的な研究内容である。</p> <p>一部に、基盤研究（S）としては少し物足りないという意見もあったが、これまで知られている原形質流動や ER ボディといった生理現象を新しい機構から見直すという意味で高いレベルの研究成果が期待でき、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>